

2025年4月10日

Lime株式会社

大阪・関西万博、関係者専用エリアにおける 移動用モビリティに「Lime」提供開始

～国内初、利用者によるバッテリースワップステーションも導入～

世界280都市以上で電動モビリティのシェアリングサービスを展開するLime株式会社（ライム、本社：東京都港区、カンントリー・マネージャー兼アジアパシフィック地域統括責任者：テリー・サイ、以下「Lime」）は、2025年4月13日より開催される日本国際博覧会（大阪・関西万博）の未来社会ショーケース「スマートモビリティ万博」において、関係者向けパーソナルモビリティのサプライヤーに決定しました。これに伴い、大会運営関係者が利用するエリア内での移動支援を目的として、この度、Limeの電動モビリティの提供を開始したことをお知らせします。

また、Limeは同会場にて、国内初となる「バッテリースワップステーション（交換型バッテリースタンド）」を設置・運用開始いたしました。これは、利用者自身が電動モビリティのバッテリーを、充電済みのバッテリーとその場で交換できる仕組みで、従来Limeスタッフが行っていたバッテリー交換を自律的に行えるようにすることで、より持続可能なマイクロモビリティ運用を可能にします。



▲万博会場にて利用されるLimeの電動モビリティ（着座式シートボード等）

【取り組みの背景】

大阪・関西万博の会場は非常に広大であり、関係者やスタッフが園内を効率的かつ環境に配慮して移動できる手段の導入が求められています。

Limeは、電動キックボードや電動シートボード(着座式)を中心とした次世代型のパーソナルモビリティを提供することで、移動の利便性と環境負荷の軽減を両立し、万博の円滑な運営をサポートします。

また本取り組みは、Limeが協力する「未来社会ショーケース事業」の一環として実施されます。同事業は、「いのち輝く未来社会」という大阪・関西万博のテーマのもと、最先端の技術やサービスを“実証”と“実装”の形で展開し、会場を「未来社会の実験場」として、来場者がその未来を実際に体験できることを目的としています。

【Limeの電動モビリティ活用概要】

- 使用対象: 万博会場スタッフ等の関係者
- 使用エリア: 会場のバックヤード内に限定
- 導入期間: 2025年4月1日
- 車両数: 183台(電動キックボードと、座って乗れる電動シートボードの2種)
- 利用方法: 通常利用時と同様にLimeアプリを使って乗り出せる仕組み
- 無料で利用可能



▲万博会場に設置されたLimeの電動モビリティ(着座式シートボード等)

【国内初: バッテリースワップステーションの導入】

- 設置場所: 万博会場内バックヤード
- 設置開始日: 2025年4月1日
- 特徴:
 - 利用者自らがバッテリーを交換できる専用スタンドを設置
 - Limeスタッフによる交換頻度を削減し、効率的な運用を実現
 - バッテリー再利用の促進により、持続可能なモビリティ社会の実現を目指す



【Lime カントリーマネージャー テリー・サイ コメント】

大阪・関西万博という国際的な舞台で、日本初のバッテリースワップステーションと共にLimeの電動モビリティを活用いただけることを大変光栄に思います。より持続可能で、よりスマートな都市交通インフラを広げていく上で、大きな一歩になると考えています。

また、万博の掲げる『未来社会のデザイン』というテーマは、持続可能性、技術、そして生活の質の向上に焦点を当てています。Limeとしてもこのテーマに賛同しており、「共有可能で手頃な価格、そしてカーボンフリーな未来の交通を創造する」という私たちのミッションと多くの共通点があると感じています。今回の取り組みを通じて、その実現に少しでも貢献できればと願っています。

【参考】未来社会ショーケース事業について

未来社会ショーケース事業は、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会」を支える技術・サービスを、2025年以降の未来を感じさせる「実証」と2025年の万博にふさわしい「実装」の形で、「未来社会の実験場」となる万博会場の整備、運営、展示、催事などに活用し、国内外の幅広い参加者や来場者に、体験として提供する事業群の総称です。

「大阪・関西万博」概要

開催期間: 2025年4月13日(日)～10月13日(月)の184日間

開催場所: 大阪府大阪市夢洲地区

公式サイト: <https://www.expo2025.or.jp/>

Lime(ライム)サービス概要

電動マイクロモビリティのシェアリングサービス「Lime」は、街中に設置されたポート(駐輪場)にある電動マイクロモビリティを、専用のアプリから予約して乗車し、目的地の近くにあるポートに返すことができるシェアリングサービスです。Limeのポートであればどこでも返却が可能です。

2024年8月より日本で電動モビリティシェアサービスを開始し、立ち乗り用の「電動キックボード」と座り乗り用の「電動シートボード」の2種類の車両を提供しています。



▼アプリのダウンロードはこちら

Apple Store

<https://apps.apple.com/jp/app/lime-ridegreen/id1199780189>

Google Play

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.limebike&hl=ja&pli=1>

<利用前の説明事項>

- ・乗車する場合、必ずアプリから安全教育を受講する必要があります。その上で事前テストを受け、全問正解して初めて乗車可能となります。
- ・自賠責保険と対物・対人賠償事故を補償する自動車保険をすでに導入し、利用者が万が一事故に遭った際の補償を確保しています。

■ Limeの安全・安心への取り組み

Limeは、最先端の技術、安全教育の充実、ライダーへのインセンティブ制度を組み合わせることで、世界最高水準の安全性と信頼性を誇るマイクロモビリティサービスを実現しています。グローバル展開を強みに累計3億回以上の全世界の利用データを活用し、各地域の規制やデータを基に独自設計・開発を行い、随時アップグレードを実施しています。自社で企画から車両開発までを一貫して行うことで、より高い安全性と信頼性を確保しています。

・取り組み詳細はこちら: <https://www.li.me/ja-jp/why/safety>

1) 包括的な安全教育 & ファースト・ライド・アカデミー

初めて利用する際には、アプリ内で 安全教育プログラム を受講し、事前テストに全問正解することで乗車が可能になります。また、初心者向けの実地講習「ファースト・ライド・アカデミー」も随時開催しており、安全な走行方法を実践的に学べる機会を提供しています。

2) ヘルメットセルフイ制度

ヘルメット着用を推奨するため、Limeでは独自の「ヘルメットセルフイ」機能を導入しています。乗車前にヘルメットを着用した写真をアプリでアップロードすると、都度の通常料金から10%割引を受けることができます(LimePassは対象外)。

3) 自社開発の車両 & 継続的なアップグレード

Limeでは 自社で車両を設計・製造し、各国の規制や実際の利用データを基に、より安全で安定した走行ができるように 頻繁なアップグレード を行っています。

4) 充実した保険制度

Limeでは、万が一の事故に備え、自賠償保険および対物・対人賠償保険を提供し、利用者が安心してサービスを利用できる環境を整えています。

Limeについて

社名: Lime株式会社

所在: 東京都港区虎ノ門4丁目3番1号

城山トラスタワー9階東京赤坂法律事務所・外国法共

同事務所内

代表: テリー・サイ

事業: 電動モビリティのシェアリングサービス

設立: 2019年8月15日



HP: <https://www.li.me/ja-jp/>

Lime(ライム)とは

電動マイクロモビリティのシェアリングサービスを提供する世界最大の企業です。専用のアプリを通じて、街中のポート(駐輪場)に設置された電動マイクロモビリティを予約し、目的地近くのポートに返却することができます。

「電動マイクロモビリティを公共交通手段として発展させ、カーボンフリーで持続可能な未来をつくること」をミッションに掲げ、電車やバスのように誰もが気軽に利用できる新たな公共交通手段として社会インフラ化することで、ラストワンマイルの移動手段の確保や観光振興など、日本が直面する社会課題の解決にも貢献できると考えています。

現在、Limeは世界各国の都市と連携し、5マイル(約8キロ)未満の移動に電動アシスト自転車や電動キックボードなどの電動モビリティを提供しており、世界5大陸・280都市以上で6億回以上の

乗車実績を誇ります。電動マイクロモビリティを単なる移動手段としてではなく、都市のモビリティの未来を支える公共交通インフラとして育てていくことで、自家用車に代わるサステナブルで安全な移動手段を普及させ、より便利でクリーンな社会の実現を目指しています。

【本件に関するお問い合わせ先】
Lime Japan PR事務局 担当:船木・森
Email: Japan-press@li.me
